

沿線5市が一堂に集う

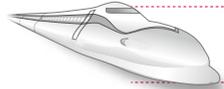
11/20

第4回新幹線5市サミット



第4 4回新幹線5市サミット・新幹線シンポジウムが諫早市で開催されました。九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)沿線5市(長崎・諫早・大村・嬉野・武雄各市)の市長が一堂に会し、同ルートの長崎延伸や地域振興などについて協議し、今後、5市が連携し協調していくことを再確認しました。

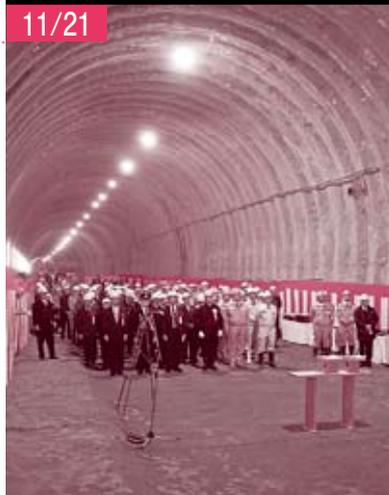
また、田上長崎市長が沿線5市共同声明を発表し、5市が団となって建設推進を国に強く求めることを表明しました。シンポジウムの最後に「西九州ルート沿線5市災害応援協定」の調印式を行い、災害発生時における5市相互の連携体制を整えることを確認しました。



市境の鈴田トンネルが貫通

11/21

鈴田トンネル貫通式



九 九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)で、県内で初めて工事に着手した大村市と諫早市の市境にある鈴田トンネルが貫通したことを記念して貫通式が開催されました。

式には、松本市長、辻市議会議長をはじめ、諫早市側から宮本市長、並川市議会議長、両市の関係機関、地元関係者など約150人が参列し、貫通発破や通り初め、鏡開きなどを行い、工事の無事を盛大に祝いました。

鈴田トンネルは、中里町から諫早市本野町へ抜け、全長は約1,700mです。



「ガーデンシティ
おおむら」を目指して



vol.5

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

今年、市制施行70周年記念の年です。多くの市民の皆さまや市外からもできるだけ多くの人に「花と歴史と技術のまち」大村の記念イベントにおいていただきたいと思っております。この花と歴史と技術のうち、今回は新春にふさわしく、大村の花についてのお話です。

私は「ガーデンシティおおむら」を目指しつつ大村の街づくりを進めています。市民の皆さまはもちろん、長崎の空の玄関口である大村として、長崎空港に到着し大村を訪れる人々に、街いっばいにあふれる花を楽しんでいただきたいのです。

大村の花といえば、何といってもサクラです。

大村公園には、国の天然記念物にも指定されているオムラザクラ(大村市花)があります。この花は、花びらが60枚〜200枚にも達し、優雅な色合いとポリウム感にあふれ、優美で気高く、里桜の中でも名桜といわれています。また、野岳湖公園、旧田融寺庭園、琴平スカイパークのサクラも多くの人々の目を惹きつけてくれます。

サクラのほかにも、裏見の滝自然花苑の5千本を超えるシャクナゲや、岳ノ木場公園の3万本のツツジ、大村公園の西日本有数を誇る30万本のハナショウブ、鉢巻山の100万本のヒガンバナなどは、市内外から多くの観光客を集めています。

このほかにも、市のいたるところで、市民・団体の皆さまにもヒマワリやコスモス、長崎ラベンダーなどの美しい花を植えていただいております。

これからも、市民の皆さまとともに、大村を花いっばいにして「ガーデンシティおおむら」を実現してまいります。

第13回大村市顧問会議



東 京都市内で、第13回大村市顧問会議を開きました。松本崇市長が、大村市にゆかりがあり大企業などのトップで活躍されている顧問の皆さん6人に、市の現状や展望などを説明し意見交換を行い、皆さんからはふるさと大村の飛躍、発展を期待する意見などが寄せられました。

【出席者(五十音順)】
 奥雅春氏(玉川大学客員教授)、紀内隆宏氏(全国市町村振興協会顧問)、古森重隆氏(富士フイルムホールディングス代表取締役社長)、杉田亮毅氏(日本経済新聞社取締役会長)、中西英介氏(元サムコテクシブ顧問)、錦戸忠彦氏(宇宙航空研究開発機構顧問)

11/10

経済界などのトップがアドバイス

県知事に要望書を提出



松 本市長、辻市議会議長をはじめ、地元選出県議会議員や市議会議員などが県庁を訪れ、県の施策に関する要望書を提出しました。

今回は、①県立図書館の新設・移転、②長崎空港A滑走路周辺地域の航空機騒音対策、③二級河川郡川改修事業の促進、④一般県道大村外環状線の早期整備促進、⑤主要地方道大村停車場線の改修、⑥木場スマートインターチェンジ(仮称)の設置、⑦一般国道34号大村拡幅事業の促進、⑧「さくらの街おむら」の推進支援の8項目を要望しました。

11/14

県の施策について要望活動

ワーク・ライフ・バランス推進事業



市 では、近年の晩婚化や少子化に対応し、家庭の形成の必要性を再認識する機会を提供するため、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)推進事業に取り組んでいます。

この日は市内のホテルで、市内の企業や事業所などを経営するトップを対象にセミナーを開催し、若い世代の代表者7人がパネリストとなり、結婚や仕事に対する価値観や意見などを議論しました。

25日には、独身の男女約200人を対象に出会いの場を提供する交流イベントも行い、ワーク・ライフ・バランスの意識の定着を図りました。

11/21

若者の意識を認識し出会いの場を創出

(株)ジーエスエレテック テクニカルセンター起工式



株 株式会社ジーエスエレテックが、オフィスパーク大村に研究施設「テクニカルセンター」の新設と既設工場の増設に伴い、立地協定を締結しました。

同社は、平成18年6月に本市に立地した企業で、主に自動車の電気系統部品を製造しています。現工場の隣接地に新設されるテクニカルセンターは、7月の操業を予定しており、新設・増設合わせて約50人の雇用を計画しています。

29日は、同社をはじめ、松本市長や県などの関係者が出席して起工式が行われ、工事の安全を祈願しました。

11/29

立地協定を締結し大村を新たな拠点に

北部大村地区簡易水道通水式



平 成18年度から着手していた北部大村地区簡易水道の拡張事業が約5年をかけて完成し、通水式を行いました。

北部大村地区の簡易水道は、給水区域の拡張に伴い給水量の不足などが懸念されるため、東野岳に2つの水源を新たに開発し、さらに配水池の増設と監視制御装置の更新工事を行いました。

これにより、一日当たりの取水量は390m³から730m³に増量され、安全で安心の水を安定して供給できるようになりました。

12/1

安全・安心の水を安定して供給